緊急発信

緊急 号外 待ったなし!

中原区宮内出身の心意気 重冨たつや

10年間で最大3941億円の収支赤字

今 何に税を使うかが問われる時! 何に税を使わないかが未来への道

川崎市の推計によれば、**今後 10 年間で 1,633 億円～ 3,941 億円の収支不足**になることが明らかになりました。さらに今年度、川崎市に回される地方交付税等が、**予算計上額 169 億円より 67 億円少ない 102 億円**になりました。このままでは赤字決算となってしまうため、全ての局区を対象に予算の執行抑制措置を行っております。

10年間の推計パターン　歳入 大↓小　歳出 小→大

	① 職員削減あり 1人あたり等経費額の増なし 投資的経費の増なし	② 職員削減なし 1人あたり等経費額の増あり 投資的経費の増あり
A 経済再生ケース	A① 収支額　10 年間で－1,633 億円（単年度最大－245 億円）	A② 収支額　10 年間で -2,866 億円（単年度最大 -338 億円）
B 参考ケース	B① 収支額　10 年間で－2,118 億円（単年度最大－248 億円）	B② 収支額　10 年間で -3,350 億円（単年度最大 -453 億円）
C 経済成長なし	C① 収支額　10 年間で－2,700 億円（単年度最大で－329 億円）	C② 収支額　10 年間で -3,941 億円（単年度最大で -577 億円）

収支推計結果について

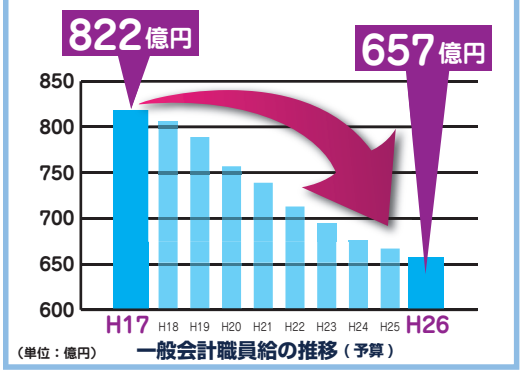
６パターンの推計では、最も収支状況がよいケースである **A①** においても、10 年間では 1,633 億円（単年度最大 245 億円）の収支不足が見込まれます。最も厳しいケースである **C②** においては、10 年間で 3,941 億円（単年度最大 577 億円）の収支不足が見込まれます。

重冨たつやと川崎市政を考える会 理念

私は１つの信念に基づいて活動をはじめました。それは、政治は私たちに希望を与えるべきだという信念です。年金が不安・国の借金が不安、このような状態を子供達に引き継いではならないと思っています。ではまず何から変えていけば良いのか。社会保障制度でしょうか。教育でしょうか。私は、政治家を信頼できない今の政治を変えることだと考えます。川崎市でも約10年前に政務調査費の不正使用があったのをご存知ですか。私たち市民が立ち上がる時が来たのではないでしょうか。
私は希望を持てる政治を目指して活動してまいります。

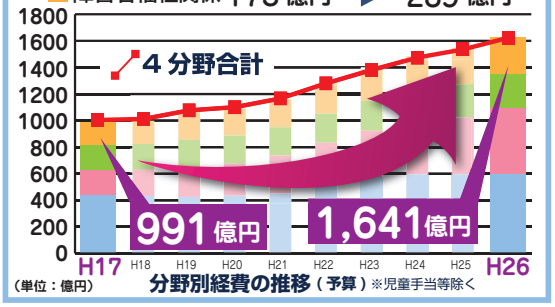
これまでの行財政改革による歳出削減

H17 年度　H26 年度
職員給 … 822 億円 → 657 億円



社会経済環境による歳出増加

	H17 年度		H26 年度
生活保護費	439 億円	→	600 億円
こども関係	186 億円	→	488 億円
老人福祉関係	193 億円	→	264 億円
障害者福祉関係	173 億円	→	289 億円



２つのグラフは人件費の削減のみでは、赤字となってしまうことを示しています。
知らぬ間に、生活に関わる部分の財源がどんどんカットされる未来が予想されます。
行政や議員の発想力だけではなく、より多くの市民の意見やアイディアを市政に反映させなければ、この困難を乗り越えることはできません。

「知らぬ間に」の政治を終わらせられるのは私たち市民だけです。

川崎市は遅れている！？ 詳しくはうら面へ

クイズに答えよう What's 川崎市政?!

元学習塾・塾長の **重冨たつや** が出題!
政治情報を楽しく学ぼう！

川崎市の一般会計（平成 26 年度）の予算規模はいくらでしょう？
一般会計：一番大きなおサイフ

Ⓐ 971 億円　Ⓒ 2,871 億円
Ⓑ 3,471 億円　Ⓓ 6,171 億円

一般会計（おサイフ）の中身

財源

扶助費	(24.3%)	生活困窮者、児童、老人、心身障害者等を援助するために要する経費
投資的経費	(16.1%)	道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うものと、市が単独で行うものまた、災害で壊れた道路をなおすために行うもの。
人件費	(15.1%)	職員給、退職金、委員等報酬、議員報酬手当などの経費
公債費	(11.6%)	地方債元利償還金及び一時借入金利子の支払いに要する経費
物件費	(10.8%)	光熱費や施設の管理費など。
補助費等	(9.4%)	事業や団体への補助金など。

答えはホームページへGO!!

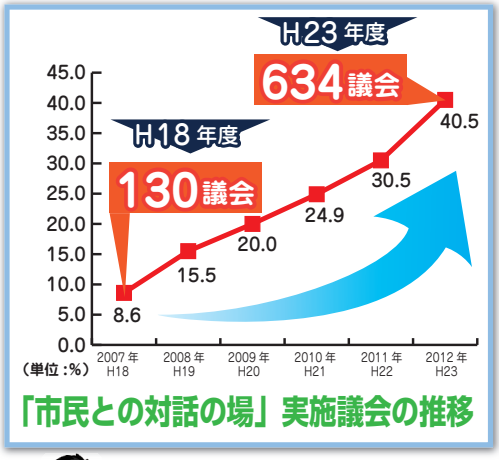
今 何に税を使うかが問われる時！ 何に税を使わないかが未来への道

私たち市民が「知らぬ間に」、川崎市財政は現在厳しい状況にあります。限られた財源を何に使うのかと同時に何には使わないのかを考えなければなりません。**現場のことは現場が、国民の暮らしのことは国民がわかっているのではないでしょうか。**私たちの「何は必要で、何は必要ないのか」という市民感覚の声を政治に届けていくことで、「知らぬ間に」の政治を終わらせましょう。

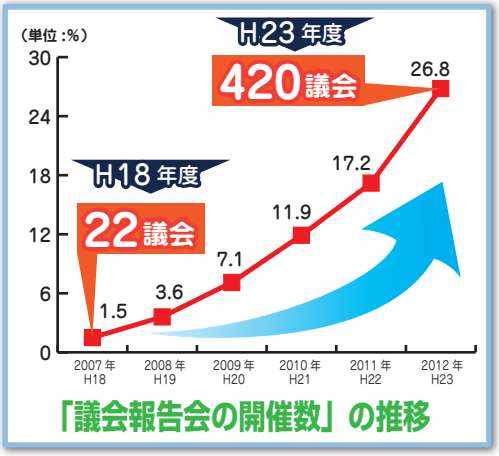
終わらせるために何が必要か

全国で議会報告会や意見交換会などの「市民との対話の機会」を設けている議会が増えています。これらの会は、市民が政治に関心をもつことのハードルを低くする有効な手段の１つです。さらにこのような機会は、議会・議員の質向上にも一役買うことになります。議会・議員が活動に適度な**緊張感**を持てるようになるからです。私はこれらの会の開催を義務付ける条例制定を目指して活動しております。川崎市と同じ政令指定都市の名古屋市でもすでに実施され、アンケートで「これからもこのような会を開いてほしい」と約８割の方が回答しています。

既成政党にはできない議会改革を重冨たつやにお任せ下さい。

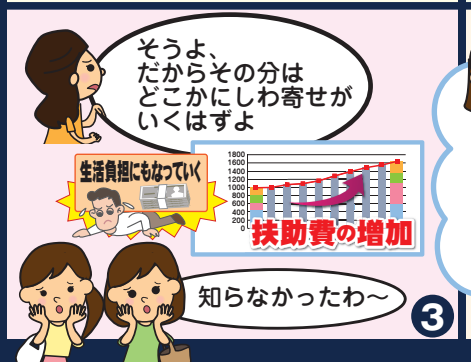


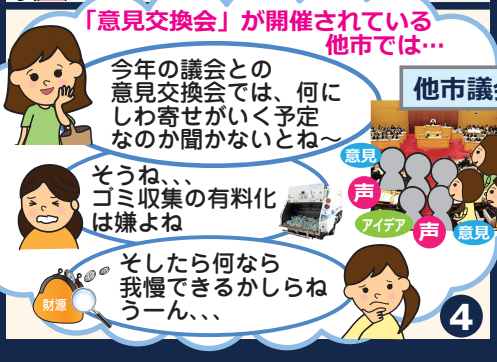
「市民との対話の場」実施議会の推移



「議会報告会の開催数」の推移

市民と一緒に考える議会へ
～市民の暮らしのことは市民がよく知っている～





川崎市には市民と意見交換会などがありません!!

声が届く仕組みが必要

限りある財源を有効に使うためには、私たちの声が議会に届く仕組みが必要です。市民感覚の「何は必要」「何は必要ない」を議会に届ける機会、それが議会報告会や意見交換会です。

今の信頼できない政治と借金を次の世代に残すわけにはいきません!!

今 何に税を使うかが問われる時！ 何に税を使わないかが未来への道

5

Profil

元学習塾・塾長！

重冨 達也（しげとみ たつや）

25歳

1988年11月18日生

等々力保育園／宮内小学校／高輪中・高等学校
首都大学東京 航空宇宙工学専攻 入学
大手学習塾 入社

飛行機の設計を学ぶ
鳥人間コンテスト
パイロットで出場

ワ冠（かんむり）の冨で検索!!

ホームページへGO!!

重冨たつや 検索

・詳しい政策や政治理念
・過去の川崎市政クイズ
・活動チラシ
・WEB演説(動画)
・ブログやsns更新中！

入会募集中！ ボランティアも
重冨たつやと川崎市政を考える会

重冨たつやの活動は、皆さまの善意のご支援によって成り立っております。ご賛同、ご共感いただけましたら、是非とも「**重冨たつやと市政を考える会**」へご入会をお願いいたします。入会費用、年会費等は一切ございません。ご入会いただける場合は、ホームページ・電話・メール・ＦＡＸにてご連絡ください。

ご入会いただいた方には

- 川崎で生活していて感じたことを教えてください。
- 政治への想い・アイディアを教えてください。
- 新しいビラができたらご自宅までお持ちします。
- 重冨の想いをさらに詳しくお伝えします。
- 市政の情報をメールや電話でお伝えいたします。
- ご近所の方や知人に紹介をお願いします。

重冨たつやと川崎市政を考える会
川崎市中原区上小田中5-10-14メゾン中原102
電話・ＦＡＸ：044-920-9991
メール：shigetomi_tatsuya@outlook.jp